

使用説明書

YMC-Pack FA

YMC-Pack CA

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。お届けしましたカラムの性能を十分に発揮させ、永らくご使用いただくために本使用説明書をご一読のうえ、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

1. 出荷時封入溶媒

添付の検査成績書 COLUMN INSPECTION REPORT に示されています。カラムを長期間保存する場合にもこの溶媒で置換してください。

2. 溶離液

- ・ アセトニトリル/メタノール/水、アセトニトリル/水などの混合溶媒を基本としますが、分析キット使用説明書に示された溶離液で分析されることを推奨します。
- ・ 通液はカラムラベルに示された矢印の方向に行ってください。
- ・ 溶離液の pH は通常 pH 2 から 7.5 で使用可能ですが、pH 4 から 5 の範囲でご使用になられることをお勧めします。
- ・ pH 限界付近では 40%以上の有機溶媒を含む溶離液を使用してください。また、この pH 限界付近では、温度や溶離液組成などの条件によってカラム寿命が短くなる場合があります。
- ・ 溶離液と混合すると不溶性物質が析出するような試料はカラムに注入できませんので試料の前処理には十分注意してください。

3. カラムの洗浄（一般的な方法）

- ・ 初期とやや異なる溶出パターンが得られた場合、カラム内へのイオン性物質や高分子量の極性物質などの吸着が考えられます。この場合は、アセトニトリル/水 (90/10) (pH 4 から 5 トリフルオロ酢酸 (TFA) で調整) を通液してください。
- ・ 非極性物質の吸着が考えられる場合は、テトラヒドロフラン (THF) などの溶解性の高い溶媒で洗浄してください。

4. その他の環境

- ・ カラム圧力は 20 MPa 程度を上限の目安としてください。
- ・ 試料注入を繰り返すとカラム圧力が上昇する場合があります。試料はあらかじめ YMC Duo-Filter (0.2 μ m) などですろ過してください。また、カラムフリットに目詰まりするような試料はプレカラムフィルタを使用してください。
- ・ カラム温度は、50 $^{\circ}$ Cを上限とし、通常は 20 $^{\circ}$ Cから 40 $^{\circ}$ Cの間で使用してください。

● 製品に破損があった場合、ご注文の品と異なる製品が届いた場合には、製品到着後 2 週間以内にご連絡ください。速やかに交換いたします。2 週間を過ぎた製品は良品受領とさせていただきます。

● 仕様および外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。